

| | | | | | |
|----------|---------------|---------|----|-----|------|
| 授業科目名・形態 | ヘルスアセスメント 演習 | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 1 |
| 担当者氏名 | 今野修・千葉孝子・村川徳昭 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | 3年後期 |

【授業の主題】

ヘルスアセスメントとは、対象の健康状態を把握するためのフィジカルアセスメントと心理・社会的アセスメントを統合したアセスメントである。本授業では、対象の身体的側面を査定するためのフィジカル・イグザミネーションの技法のみならず、心理的・社会的側面へのアセスメントの方法も学び、対象を全人的にアセスメントできる知識・技術の習得を目指す。

【到達目標】

身体的・心理社会的・スピリチュアルな側面からの健康に関する包括的な情報を収集し、その情報を質的・量的に分析・統合・判断できる。

【授業計画・内容】

| | | | |
|-----|---------------------------|------|---------------------------------------|
| 第1回 | ヘルスアセスメントの概要(今野) | 第9回 | シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際①：グループ・ワーク(今野) |
| 第2回 | 心理・社会的アセスメント(今野) | 第10回 | シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際②：グループ・ワーク(今野) |
| 第3回 | 呼吸器系のアセスメント(千葉) | 第11回 | シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際③：グループ・ワーク(今野) |
| 第4回 | 循環器系のアセスメント(千葉) | 第12回 | シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際④：グループ発表(今野) |
| 第5回 | 消化器系のアセスメント(千葉) | 第13回 | シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際⑤：グループ発表(今野) |
| 第6回 | 神経・感覚器・筋骨格器系のアセスメント(千葉) | 第14回 | クリティカル・シンキングとヘルスアセスメント(今野) |
| 第7回 | 救命救急の場におけるヘルスアセスメント① (村川) | 第15回 | スピリチュアル・アセスメント(今野) |
| 第8回 | 救命救急の場におけるヘルスアセスメント② (村川) | | |

【授業実施方法】

講義・演習

【授業準備】

次回の授業内容については予告するので、次回までに教科書等で予習してくる。

【主な関連する科目】

基礎看護技術論Ⅱ，看護過程論，成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

【教科書等】

特に指定しない。

【参考文献】

松尾ミヨ子他：ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② ヘルスアセスメント第5版，メディカ出版

【成績評価方法】

筆記試験 80%、提出物および演習への取り組み等 20%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を生かした授業内容】

救命・救急医療の現場で様々な症例への対応を経験してきました。その知識と経験を生かして、アセスメントの多様性を伝えていきたいと考えております。

【学生へのメッセージ】

授業では、シミュレータ学習や事例検討等を取り入れ、実践したアセスメントへの振り返りを通して、クリティカルシンキング(批判的思考)の能力を身につけてもらいたいと思います。また、本科目に関連する講義、実習等の既習の知識を応用するために、予習、復習を積み重ねていってください。